

# Matrox M シリーズ

## ユーザーズマニュアル



## ご注意

本製品の内容の一部または全部を無断で転用することは禁止いたします。  
この製品の仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。  
記載された各商品名等は、各社の商標または登録商標です。

## 安全上のご注意



### 警告

以下の事項を無視し、誤った取扱いをすると、死亡又は重傷を負う可能性があります。

お客様ご自身で本製品を修理・改造しないで下さい。火災、感電の原因になります。  
煙が出たり、異臭がするなど異常状態のまま使用しないで下さい。火災、感電の原因になります。

濡れた手で本製品を取り扱わないで下さい。感電の原因になります。



### 注意

以下の事項を無視し、誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があります。

静電気による破壊を防止するため、本製品を設置・保管・運搬等する場合には十分にご注意下さい。

端子部分には指などで直接触れないで下さい。

本製品を磁気の強い場所、または磁気の強い物のそばに置かないで下さい。

本製品を床などに放置しないで下さい。踏みつけて壊したり、けがの原因になります。

本製品は、その仕様上、発熱のため高温になる場合があります。使用後、本製品を取り扱う場合は、十分に冷却されたことを確認の上、取り扱って下さい。

## 目次

ご注意 .....	3
安全上のご注意 .....	3
ソフトウェアの品質保証 .....	7
*ソフトウェアのサポートについて .....	7
保証規定 .....	8
1. はじめに .....	9
2. “Matrox M series” の特長 .....	9
3. シリーズ構成 .....	10
4. 動作環境 .....	10
5. DVD-ROMについて .....	11
6. Matrox M series インストール手順 .....	11
6-1. ハードウェアの取り付け .....	11
6-2. ブラケットの固定 .....	12
6-3. ロープロファイル対応グラフィックボードのブラケット交換 .....	13
6-4. DisplayPort グラフィックボードのブラケットの交換 .....	13
6-5. モニタとの接続 .....	14
6-6. ディスプレイドライバのインストール .....	19

---

6-7. ディスプレイドライバのアンインストール .....	20
<b>7. Matrox PowerDesk の概要 .....</b>	<b>21</b>
7-1. Matrox PowerDesk メインメニュー .....	21
7-2. Multi-display Setup .....	22
7-3. Desktop Management .....	25
7-4. Edge Overlap and Bezel Management .....	25
7-5. Keyboard Shortcuts .....	26
7-6. Desktop Zoom .....	26
7-7. System Settings .....	27
7-8. Administrator Options .....	27
7-9. Help and Troubleshooting .....	27
7-10. About .....	27
<b>8. トラブルシューティング .....</b>	<b>28</b>
<b>9. 製品仕様 .....</b>	<b>31</b>



---

## \* ソフトウェアの品質保証

弊社は、ソフトウェアの品質に関して以下の事項に限り保証させていただきます。  
その他の保証内容につきましては、保証書をご覧下さい。

ソフトウェアが入っている DVD-ROM に欠陥がないこと。

ソフトウェアが DVD-ROM に正しく記憶されていること。

ソフトウェアが実質的にマニュアル等のドキュメントの記述の通り機能すること。

以上の保証はソフトウェアおよびマニュアル等の全てのドキュメントに関する唯一の保証であって弊社は、明示・黙示を問わずまた、商品性の默示の保証および特定目的への適合性に限らず、一切の保証をいたしません。

また弊社は、ソフトウェアの使用、データの消失等によりお客様および第三者が被った必然的、特別、間接的あるいは偶発的な損害について一切の責任を負わないものとします。

## ソフトウェアのサポートについて

本製品に同梱のアプリケーション・ソフトウェアは、バンドル製品です。  
これらのバンドルソフトウェアにつきましては、弊社およびMatrox社ではサポート対象外とさせていただいております。したがって、お問い合わせ等はご遠慮下さい。

## 保証規定

1. 本製品の保証期間はお買い上げ後1ヶ年間です。保証期間内の製品の不具合につきましては、無償で修理または代品と交換いたします。但し、保証期間内においても次のような場合は有償となります。また、修理等をいたしかねる場合があります。

### 保証書の提示がない場合

保証書の必要事項の未記入、および内容を改変された場合

ご購入日が確認できる領収書等のご提示がない場合

お買い上げ後の輸送および移動中における落下、衝撃などお客様のお取扱いに起因して発生した故障、損傷の場合

火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、異常電圧等による故障、損傷の場合

ご使用時の不備、あるいは本製品が接続されている他の機器に起因した故障、損傷の場合

弊社以外で本製品の修理、調整、および改造された場合

製品内のマニュアル等のドキュメントに記載されている使用方法、ご注意に反する使用や取扱いに起因して発生した故障、損傷の場合

特定のハードウェア / ソフトウェアでの動作の不具合（いわゆる相性）の場合

本製品を第三者に譲渡された場合

保証書を紛失等した場合、再発行は致しませんのでご注意下さい。

弊社は、本製品の故障またはその使用によって生じた直接または間接の損害についての責を負わないものとします。

本製品は、全てのPC / AT互換機での完全な動作と互換性を保証するものではありません。

2. 本保証で提供するサービスは、修理または、代品との交換についてのみであり、それ以外のサービス（故障解析や代替品の貸出、代替品の先行出荷等）は理由の如何を問わず行わないものとします。
3. 法律上の請求原因の種類を問わず、いかなる場合においても弊社は使用または使用不能から生ずる損害（事業利益の損失、事業の中止、事業情報の諸損失、またはその他の金銭的損害を含む）に関して、一切の責務を負わないものとします。
4. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。国外からの修理依頼は、受け付けておりません。

# 1. はじめに

このたびは弊社の“Matrox M series”をご購入頂き、誠にありがとうございます。“Matrox M series”は、定評のある画像品質及びマルチモニタ機能に加え、ファンレス仕様のヒートシンク<sup>\*1</sup>によりシステムの静穏性に貢献する等の卓越した特長が挙げられます。また、次世代インターフェイスのDisplayPort<sup>\*2</sup>にも対応し、高解像度モニタ(2560 × 1600)をサポートします。

“Matrox M series”は、あらゆる用途に活用できるグラフィックボードです。

\*1 M9188 PCIe x16のみアクティブファン付ヒートシンクを採用

\*2 M9128 LP PCIe x16、M9138 LP PCIe x16、M9148 LP PCIe x16及びM9188 PCIe x16

## 2. “Matrox M シリーズ”の特長

最大解像度 2048 × 1536 (アナログ<sup>\*1</sup>)、1920 × 1200 (デジタル) を実現

M9125<sup>\*2</sup>、M9128<sup>\*3</sup>、M9138<sup>\*3</sup>、M9148<sup>\*3</sup>、M9188<sup>\*3</sup>は、2560 × 1600 (デジタル) に対応

512MB、1GB<sup>\*4</sup>、または、2GB<sup>\*5</sup>メモリ搭載

M9120は、2系統DVI出力、2系統RGB出力

M9120 Plusシリーズは、専用4面出力ケーブル(別売)を使用してアナログ4系統RGB出力に対応(最大解像度 1920 × 1200)

M9128は、2系統DisplayPort出力、専用DVI変換ケーブルにより2系統DVI出力

M9138は、専用ケーブルにより3系統DisplayPort出力、専用DVI変換ケーブル<sup>\*6</sup>により3系統DVI出力

M9140は、専用ケーブルにより4系統DVI出力、4系統RGB出力

M9148は、専用ケーブルにより4系統DisplayPort出力、専用DVI変換ケーブルにより4系統DVI出力

M9188は、専用ケーブルにより8系統DisplayPort出力、専用DVI変換ケーブルにより8系統DVI出力

DirectX 9、OpenGL 2.0に対応 (WDDM ドライバは、Windows Aeroに対応)

PCI、PCI-Express (×1、×16) の各スロットに対応した豊富なバリエーション

\*1 M9138 LP PCIe x16、M9138 LP PCIe x16、M9148 LP PCIe x16及びM9188 PCIe x16は、アナログ出力をサポートしません

\*2 デュアルリンクケーブル使用時のみ対応

\*3 DisplayPort出力時のみ対応 DVI出力時は、1920 × 1200まで対応

\*4 M9128PCIe LP PCIe x16、M9138 LP PCIe x16、M9148 LP PCIe x16は、1GBメモリを搭載

\*5 M9188 PCIe x16は、2GBメモリを搭載

\*6 パッケージによっては付属していません

## 3. シリーズ構成

### < DVI-I × 2 タイプ >

Matrox M9120 PCIe x16 (型番 : M9120/512PEX16)

Matrox M9125 PCIe x16 (型番 : M9125/512PEX16)

### < LFH60 タイプ >

Matrox M9120 Plus LP PCIe x16 (型番 : M9120/512PEX16/LP)

Matrox M9120 Plus LP PCIe x1 (型番 : M9120/512PEX1/LP)

### < KX20 タイプ >

Matrox M9140 LP PCIe x16 (型番 : M9140/512PEX16/LP)

### < DisplayPort タイプ >

Matrox M9128 LP PCIe x16 (型番 : M9128/1024PEX16/LP)

### < Mini DisplayPort タイプ >

Matrox M9138 LP PCIe x16 (型番 : M9138EX/1024PEX16/LP、M9138/1024PEX16/LP)

Matrox M9148 LP PCIe x16 (型番 : M9148/1024PEX16/LP)

Matrox M9188 PCIe x16 (型番 : M9188/2048PEX16)

各パッケージの詳細については、同梱の「」をご覧下さい。

## 4. 動作環境

1GHz 以上の 32bit (x86) または、64bit (x64) の CPU を搭載した PC/AT 互換機

PCI-Express Bus (×1スロット または ×16スロット)

OS が推奨する容量のシステムメモリ

Windows XP/ Vista/ 7/ Server 2003/ Server 2008 (32bit 版または 64bit 版)

300W 以上の電源ユニット

DVD-ROM ドライブ (ドライバインストール用として)

弊社は、告知なしに製品仕様を変更する権利を有します。

上記以外のOSのデバイスドライバについては、Matrox社のウェブサイトからダウンロードしてください。

## 5. DVD-ROMについて

添付のDVD-ROMには対応OS用ドライバーが入っています。ドライバー及び、ソフトウェアのインストールについては「6-6. ディスプレイドライバのインストール」(19ページ)をご参照下さい。

## 6. Matrox M シリーズ インストール手順

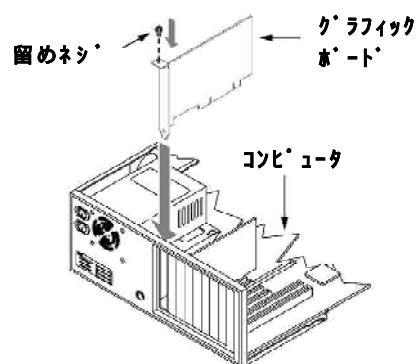
### 6-1. ハードウェアの取り付け

**注意：** 本製品は精密機械であり静電気を与えたり、ボード上の回路に触れたりしますと故障の原因となりますので取り扱いには十分ご注意下さい。

Step1 コンピュータ本体の電源スイッチをOFFにして、ACコードをコンセントから抜きます。

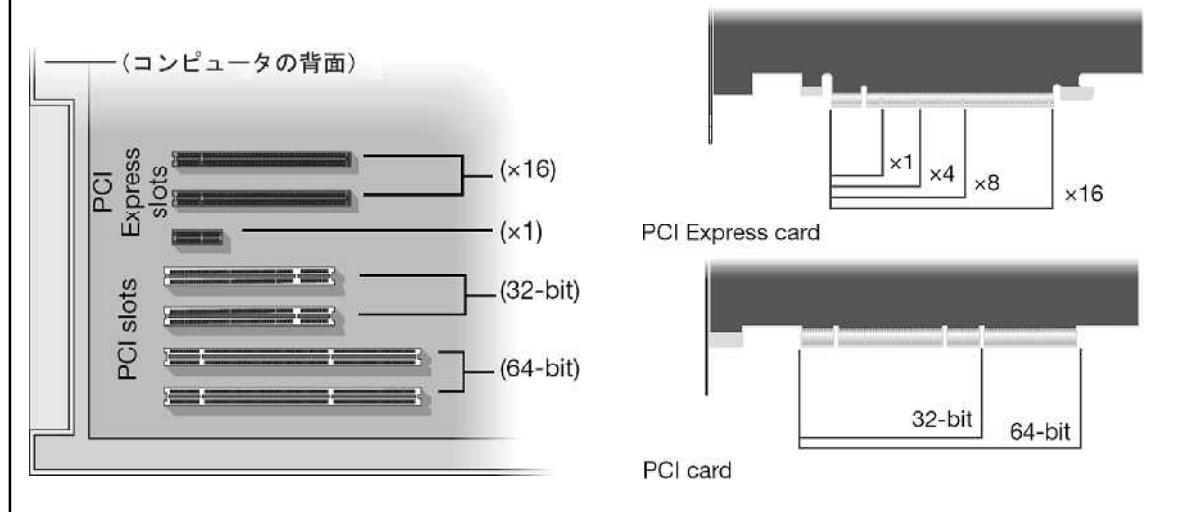
Step2 カバーを開けて、グラフィックボード本体をスロットに装着します。  
すでに使用しているグラフィックボードがある場合、スロットから取り外して下さい。  
(図1を参照)また、コンピュータによってはマザーボード上にグラフィックチップが組み込まれているものもあります。この場合、マザーボードのBIOSやディップスイッチでグラフィックチップの動作をOFFに設定して使用して下さい。詳しくはコンピュータ、またはマザーボードのマニュアルをご参照下さい。

図1



## 警告 :

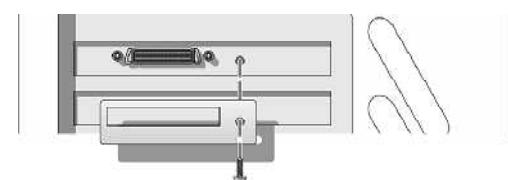
ほとんどのコンピュータは数種類のスロットを装備しています。ボードのタイプに合わせて、PCI-Express x16、または、x1スロットを選択して下さい。間違ったタイプのスロットに装着した場合、ボードやコンピュータの故障の原因となりますのでご注意下さい。



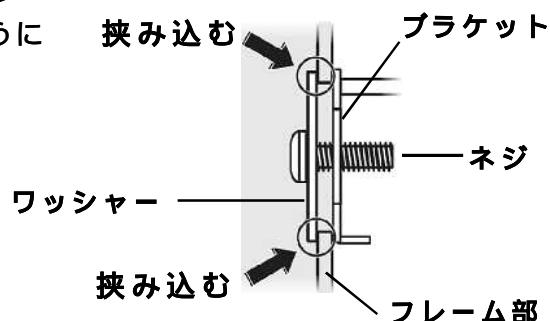
## 6-2. ブラケットの固定 (M9140 LP PCIe x16 のみ)

クワッドモニタケーブルを使用する際、ケーブルの重さでグラフィックボードが破損するのを防ぐ為、付属のブラケット固定用ワッシャーを使用してグラフィックボードを固定して下さい。

- Step1 グラフィックボードをコンピュータ本体に取り付けた後、クワッドモニタケーブルを接続する前にワッシャーを取り付け、固定用ネジで固定します。



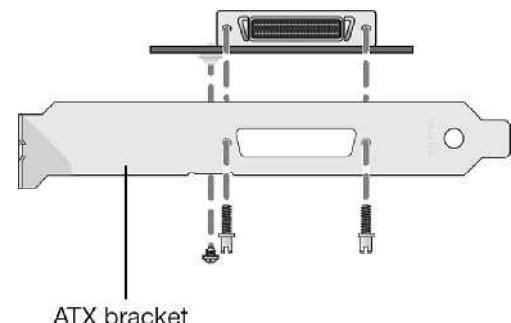
- Step2 右の図のようにコンピュータ本体のフレームとワッシャーが平らになるように調整し、ネジで固定して下さい。



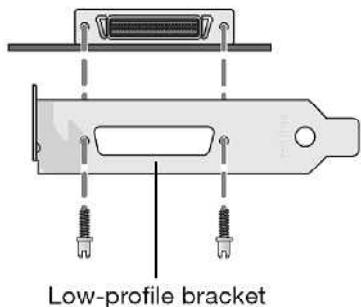
## 6-3. ロープロファイル対応グラフィックボードのブラケット交換

ロープロファイルに準拠した筐体にロープロファイル グラフィックボードを取り付ける場合は、製品に付属のロープロファイルブラケットに交換して下さい。

Step1 グラフィックボード背面のネジ及び、コネクタ側のナットを廻して、ATX ブラケットを取り外します。



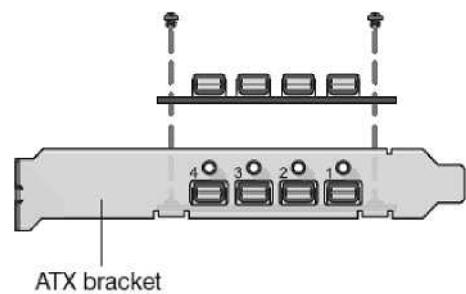
Step2 ロープロファイルブラケットを右の図のようにグラフィックボードに取り付け、ナットを締めて固定します。



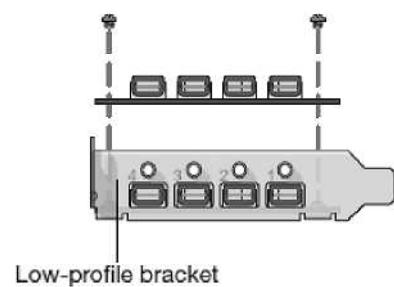
## 6-4. DisplayPort グラフィックボードのブラケット交換

ロープロファイルに準拠した筐体にDisplayPort 対応グラフィックボードを取り付ける場合は、製品に付属のロープロファイルブラケットに交換して下さい。

Step1 グラフィックボード背面のネジを廻して、ATX ブラケットを取り外します。



Step2 ロープロファイルブラケットを右の図のようにグラフィックボードに取り付け、ネジを締めて固定します。



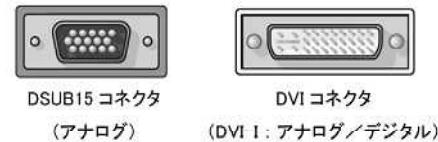
## 6-5. モニタとの接続

この項目では、グラフィックボードとモニタの接続について解説します。製品により接続方法が異なりますので、製品に対応した項目をご覧下さい。

M9120 PCIe x16 及び M9125 PCIe x16 (DVI-I x2 タイプ)

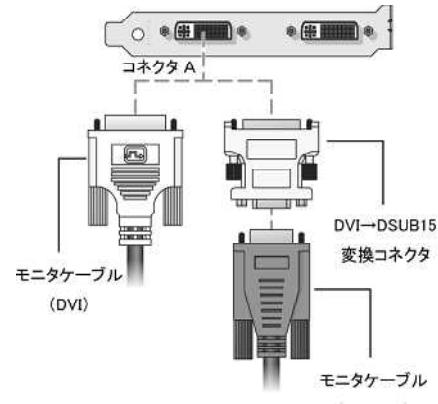
グラフィックボードに接続する場合、接続するモニタは、DVI 又は、DSUB15 のいずれかに対応している必要があります。

また、一部のモニタでは、DVI 形状でアナログ信号に対応しているものがあります。ご利用の前にモニタの仕様をご確認下さい。



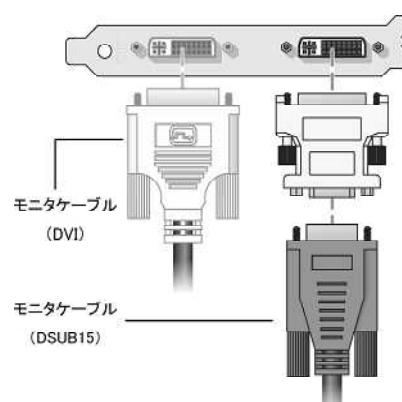
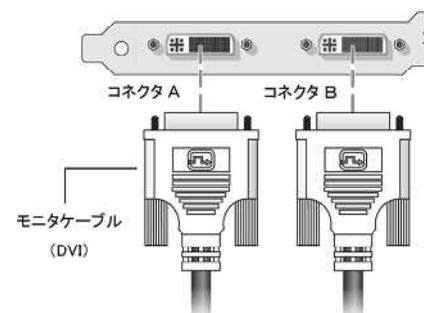
**Step1** メインモニタとして使用するモニタをグラフィックボードのコネクタ A に接続します。接続するモニタが DVI コネクタを持っている場合は、直接、グラフィックボードのコネクタに接続します。

接続するモニタが DSUB15 コネクタの場合は、製品に付属の DVI → DSUB15 変換コネクタをグラフィックボードのコネクタに取り付けてからモニタを接続します。（複数のモニタと接続する場合は、Step2 へ進みます）



**Step2** 2台目に接続するモニタが DVI コネクタを持っている場合は、直接、グラフィックボードのコネクタ B に接続します。

接続するモニタが DSUB15 コネクタの場合は、製品に付属の DVI → DSUB15 変換コネクタをグラフィックボードのコネクタに取り付けてからモニタを接続します。



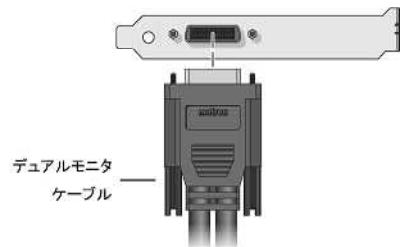
## M9120 Plus LP PCIe x16 及び M9120 Plus LP PCIe x1 (LFH60 タイプ)

グラフィックボードに接続する場合、接続するモニタは、DVI 又は、DSUB15 のいずれかに対応している必要があります。

また、一部のモニタでは、DVI 形状でアナログ信号に対応しているものがあります。ご利用の前にモニタの仕様をご確認下さい。



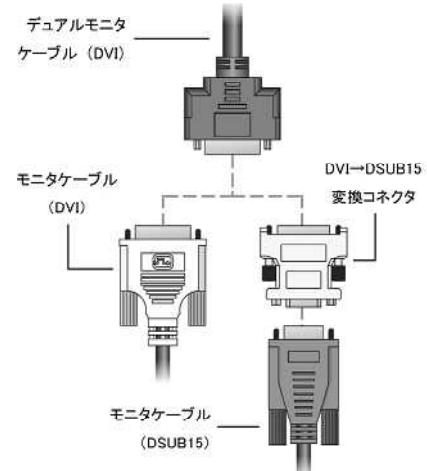
**Step1** グラフィックボードのコネクタ部に付属のデュアルモニタケーブルを接続し、固定用スクリューでブラケットにしっかりと固定します。



デュアルモニタケーブルをグラフィックボードのコネクタに接続する際は、水平を保って接続するよう十分にご注意下さい。取り付け角度によっては、デュアルモニタケーブルのピンに損傷を与える、接続できなくなる場合があります。

**Step2** デュアルモニタケーブルの先端にモニタケーブルを接続します。接続するモニタがDVI コネクタを持っている場合は、直接、デュアルモニタケーブルのコネクタに接続します。

接続するモニタがDSUB15 コネクタの場合は、製品に付属のDVI → DSUB15 変換コネクタをデュアルモニタケーブルのコネクタに取り付けてからモニタを接続します。



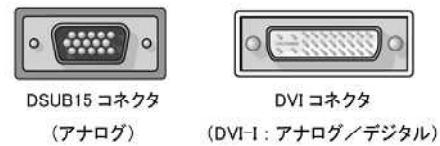
デュアルモニタケーブルの先端部には、モニタの出力順に対応した番号が割り振られています。1台のモニタで使用する際は、必ず「1」若しくは「A」のコネクタにモニタケーブルを接続して下さい。複数のモニタを接続する場合は、割り振られた番号の順番にモニタを接続して下さい。

尚、複数のグラフィックボードをインストールした場合、割り振られた番号とは異なる順番で出力される場合がありますので、ご注意下さい。

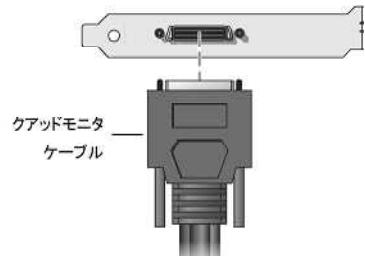
## M9140 LP PCIe x16 (KX20 タイプ)

グラフィックボードに接続する場合、接続するモニタは、DVI 又は、DSUB15 のいずれかに対応している必要があります。

また、一部のモニタでは、DVI 形状でアナログ信号に対応しているものがあります。ご利用の前にモニタの仕様をご確認下さい。

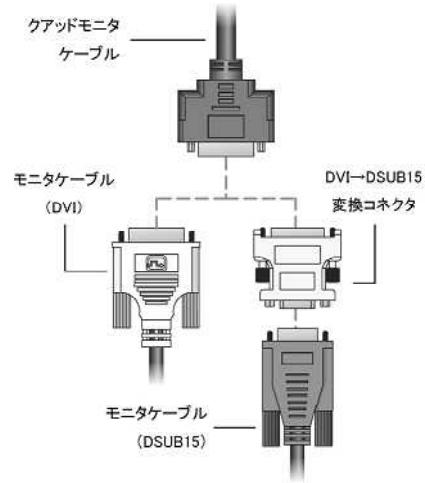


**Step1** グラフィックボードのコネクタ部に付属の  
クアッドモニタケーブルを接続し、固定用スクリューでプラケットにしっかりと固定します。



**Step2** クアッドモニタケーブルの先端にモニタケーブルを接続します。接続するモニタがDVI コネクタを持っている場合は、直接、クアッドモニタケーブルのコネクタに接続します。

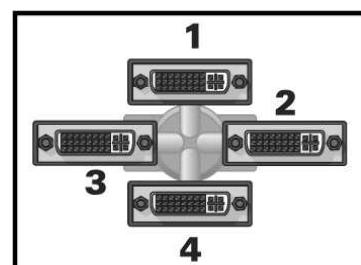
接続するモニタがDSUB15 コネクタの場合は、製品に付属のDVI → DSUB15 変換コネクタをクアッドモニタケーブルのコネクタに取り付けてからモニタを接続します。



クアッドモニタケーブルの先端部には、モニタの出力順に対応した番号が割り振られています。  
1台のモニタで使用する際は、必ず「1」のコネクタにモニタケーブルを接続して下さい。

複数のモニタを接続する場合は、割り振られた番号の順番にモニタを接続して下さい。

尚、複数のグラフィックボードをインストールした場合、割り振られた番号とは異なる順番で出力される場合がありますので、ご注意下さい。



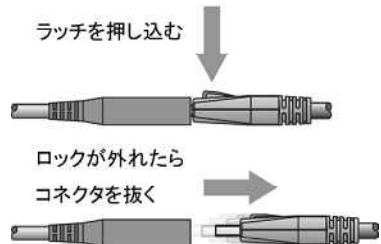
## M9128 LP PCIe x16 (DisplayPort タイプ)

グラフィックボードに接続する場合、接続するモニタは、DisplayPort 又は、DVI<sup>(\*)</sup>(DVI-D : デジタル)のいずれかに対応している必要があります。ご利用の前にモニタの仕様をご確認下さい。

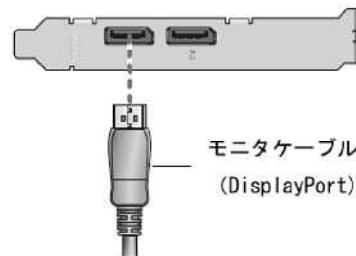


\* アナログ出力には対応していません

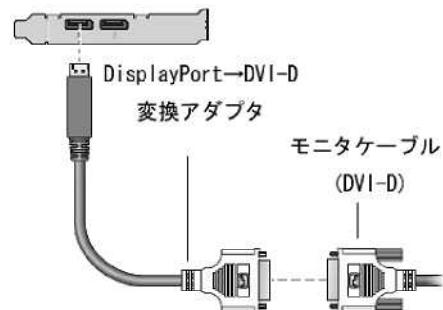
DisplayPort コネクタには、落下防止の為、ラッチが付いています。コネクタを抜く際は、ラッチを押し込みロックを外した状態で行って下さい。そのままの状態で引き抜くとコネクタ破損の原因となりますのでご注意下さい。



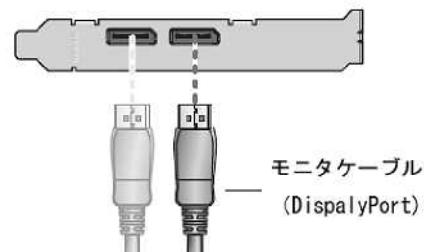
**Step1** 接続するモニタがDisplayPort コネクタを持っている場合は、直接、グラフィックボードのコネクタに接続します。



接続するモニタがDVI コネクタを持っている場合は、付属のDisplayPort → DVI-D 変換ケーブルをモニタケーブルに取り付けてからグラフィックボードのコネクタに接続します。



**Step2** 複数のモニタを接続する場合は、Step1 と同様の手順を繰り返して接続を行います。



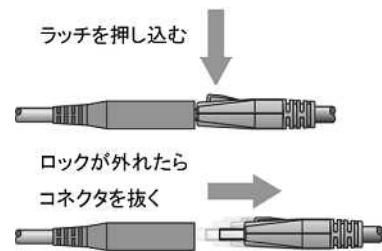
M9138 LP PCIe x16、M9148 LP PCIe x16 及び M9188 PCIe x16  
(Mini DisplayPort タイプ)

グラフィックボードに接続する場合、接続するモニタは、DisplayPort 又は、DVI<sup>(\*)</sup>(DVI-D: デジタル) のいずれかに対応している必要があります。ご利用の前にモニタの仕様をご確認下さい。

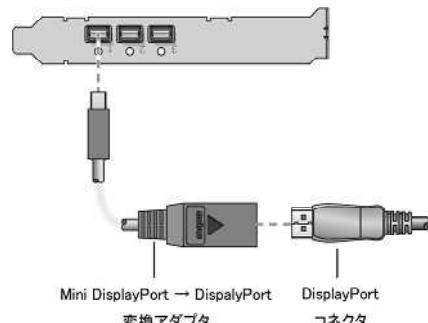


\* アナログ出力には対応していません

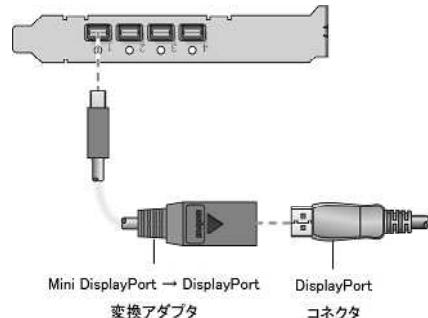
ディスプレイポートコネクタには、落下防止の為、ラッチが付いています。コネクタを抜く際は、ラッチを押し込みロックを外した状態で行って下さい。そのままの状態で引き抜くとコネクタ破損の原因となりますのでご注意下さい。



Step1 接続するモニタがDisplayPort コネクタを持っている場合は、製品に付属の Mini DisplayPort → DisplayPort 変換ケーブルをグラフィックボードのコネクタに取り付けてからモニタを接続します。

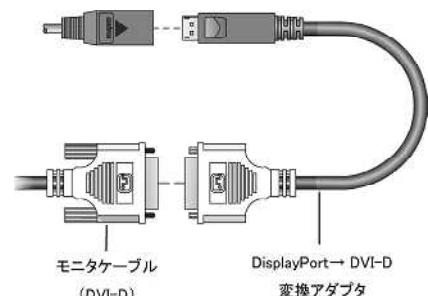


接続するモニタがDVI コネクタを持っている場合は、付属の DisplayPort → DVI-D 変換ケーブル<sup>(\*)</sup>をモニタケーブルに取り付けてから Mini DisplayPort → DisplayPort 変換ケーブルと接続します。



\* 一部のパッケージには、付属していません

Step2 複数のモニタを接続する場合は、Step1 と同様の手順を繰り返して接続を行います。



## 6・6. ディスプレイドライバのインストール

ここでは、Windows環境にXDDMドライバをインストールする方法について解説致します。このドライバは、Matrox独自の機能を操作するユーティリティである「Matrox PowerDesk」と共に専用インストーラーによってコンピュータにインストールされます。尚、WDDMドライバは、DVD-ROM内の【WDDM】フォルダに収録されています。

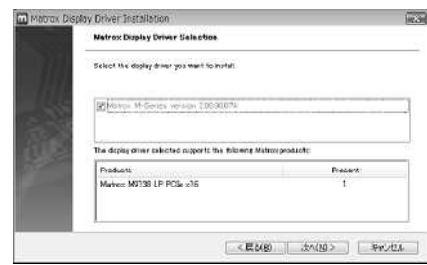
ご利用の環境により、64bit版ドライバ、32bit版ドライバのどちらかを選んでインストールして下さい。

プラグアンドプレイ機能により、グラフィックボードを装着後にコンピュータを起動するとWindowsが新しいデバイスを検出して「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますが、このダイアログはキャンセルして閉じて下さい。

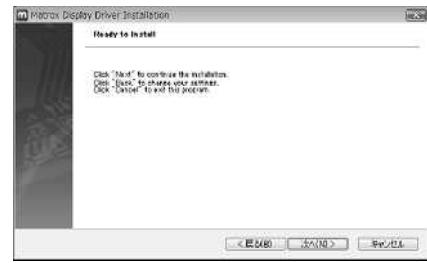
Step1 付属のDVD-ROMをDVD-ROMドライブに挿入します。DVD-ROMDがマウントされたら、「マイコンピュータ」からDVD-ROMドライブを開きます。DVD-ROM内の【XDDM】フォルダ内に収録されている「SETUP.EXE」ファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。



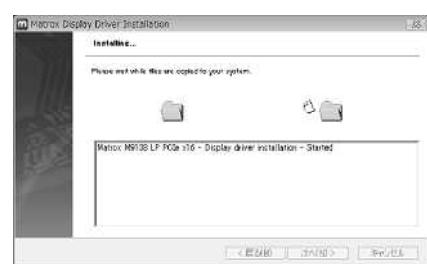
Step2 インストールするディスプレイドライバをチェックボックスで選択します。選択したディスプレイドライバが現在使用しているMatrox製品をサポートしているか、ダイアログ下部で確認して下さい。「次へ」をクリックします。



Step3 ドライバのインストールを開始する画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



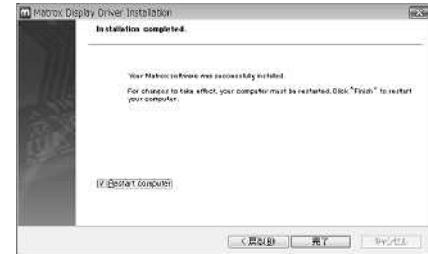
Step4 ドライバのインストールが開始されます。



- Step5 全てのドライバ・ユーティリティが正しくインストールされると、右の画面が表示されます。この画面では「次へ」をクリックします。



- Step6 ドライバ・ユーティリティのインストールが終了すると、Windows の再起動が必要になります。「完了」ボタンをクリックして下さい。Windows が自動的に再起動します。



## 6 - 7. ディスプレイドライバのアンインストール

ドライバのアンインストール（削除）は {スタート コントロールパネル プログラムと機能} (Windows Vista/7の場合) から「Matrox M-Series Driver」と「Matrox PowerDesk」を選択して行います。



## 7. Matrox PowerDesk の概要

「Matrox PowerDesk」をご使用頂くことにより、Matrox グラフィックボードの性能を十分に引き出すとともに、Matrox 社が提供する先進の表示機能をご利用頂けます。ここでは「Matrox PowerDesk」について概略を解説致します。

「Matrox PowerDesk」のメインメニューは、【スタート すべてのプログラム Matrox Graphics Matrox PowerDesk】もしくは、コンテキストメニューの「Launch Matrox PowerDesk」から起動して下さい。

ドライバのバージョンによって設定の表記が異なる場合があります。

### 7-1. Matrox PowerDesk メインメニュー



#### Multi-Display Setup

モニタの解像度やマルチディスプレイの設定を行います

#### Desktop Management

デスクトップ表示に関する様々な設定を行います

#### Edge Overlap and Bezel Management

マルチモニタ (Stretched modes 設定時) に設定した際、モニタ出力の重ね合わせ (オーバーラップ) 及び、ベゼル部分 (フレーム枠) に掛かるの画像のズれを調整します。

#### Keyboard Shortcuts

キーボードショートカットを設定します

#### Desktop Zoom

ズーム機能を設定します

#### System Settings

Windows の「ようこそ」画面の表示を設定します

#### Administrator Options

Matrox PowerDesk に管理者機能を付加します

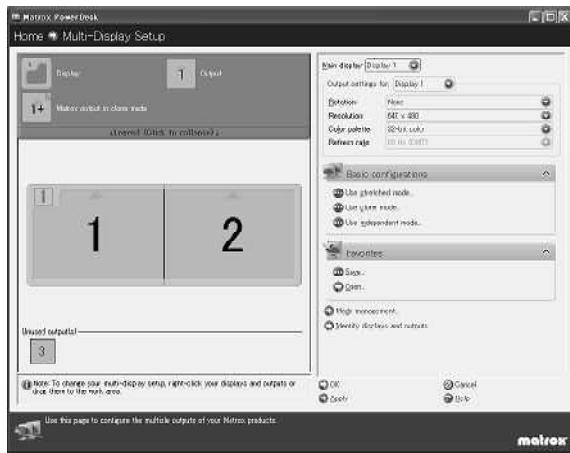
#### Help and Troubleshooting

オンラインヘルプ

## About

グラフィックボード及びMatrox PowerDeskの情報を表示します

## 7-2. Multi-display Setup



現状のディスプレイの設定状況が表示されます。モニタアイコンを直接操作することでマルチディスプレイの設定を構成することができます。

マルチディスプレイを設定した際、どのディスプレイをプライマリ（メインモニタ）に設定するか選択します。

ディスプレイの解像度「Resolution」、色数「Color palette」を設定します。

マルチディスプレイを設定した際は、「Output setting for」から設定するディスプレイを選択して下さい。また、「Rotation」を設定することで表示角度を変更することができます。例えば、「90 degrees」の場合、時計回りに90度展開した縦表示（ポートレート）になります。

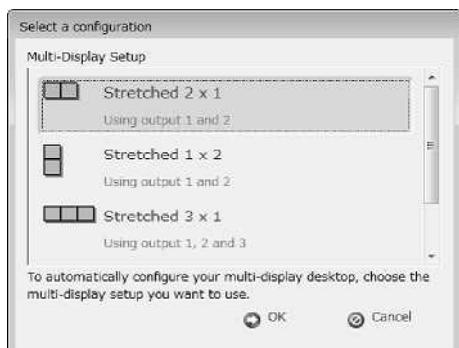
**Basic Configurations** : マルチディスプレイのモードを設定します。

マルチディスプレイは、デスクトップを複数台のモニタを使って表示する方法です。例えば、プライマリの解像度  $1024 \times 768$ 、セカンダリの解像度  $1024 \times 768$ 、二つのモニタを横に並べて  $2048 \times 768$  のデスクトップ環境を構築できます。

尚、マルチディスプレイを設定するためには、2台以上のモニタを接続する必要があります。

### [ Use stretched mode ]

タスクバーをデスクトップ全体に表示するマルチディスプレイモードです。

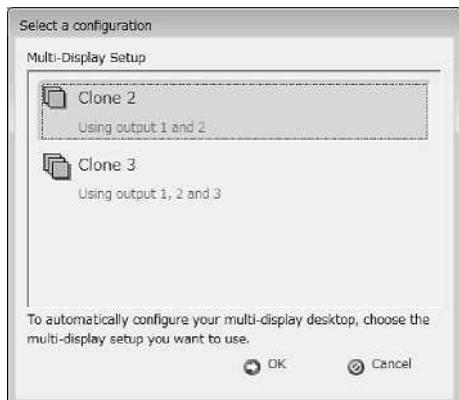


「Select a configuration」メニューから画面構成を選択します。「Stretched 2x1」は横方向2画面分、縦方向1画面分の横長解像度になります。「Stretched 1x2」を選択した場合は横方向1画面分、縦方向2画面分の縦長解像度になります。画面構成を選択したら「OK」をクリックして設定を確定します。

「Stretched 2x1」を選択し、ディスプレイの解像度を1280x1024に設定した場合、Windowsからは2560x1024の解像度として認識されます。「Stretched 1x2」を選択し、ディスプレイの解像度を1280x1024に設定した場合、Windowsからは1280x2048の解像度として認識されます。

#### [ Use clone mode ]

プライマリの出力と同じ画面をセカンダリ以降のディスプレイに出力します。

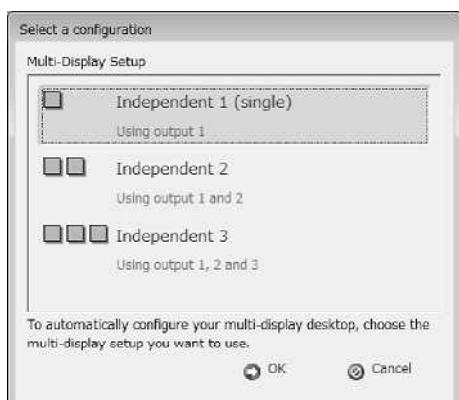


「Select a configuration」メニューから画面構成を選択します。「Clone 2」は2画面クローン、「Clone 3」は、3画面クローン、「Clone 4」は、4画面クローンとなります。画面構成を選択したら「OK」をクリックして設定を確定します。

「Clone 2」を選択し、ディスプレイの解像度を1280x1024を選択した場合、Windowsからは1280x1024のディスプレイが一つあるものとして認識されますが、プライマリとセカンダリには全く同じ画像が表示されます。

#### [ Use independent mode ]

タスクバーをプライマリ内に収めて表示するマルチディスプレイモードです。



「Select a configuration」メニューから画面構成を選択します。「Independent 2」を選択すると2つの独立したデスクトップとして認識されます。前頁の「Output setting for」から「Display1」または、「Display2」を選択して、個別にディスプレイの設定を行なうことが出来ます。

##### \* 異なる解像度を混在して使用する場合

「Independent 2」を選択し、「Display1」の解像度を1280x1024、「Display2」解像度を1024x768に設定した場合、Windowsからは1280x1024のディスプレイと1024x768のディスプレイの二つの独立したデスクトップとして認識されます。

##### \* 同一解像度を使用する場合

「Independent 2」を選択し、「Display1」解像度を1280x1024、「Display2」解像度を1280x1024に設定した場合、Windowsからは1280x1024のディスプレイと1280x1024のディスプレイの二つの独立したデスクトップとして認識されます。

**Favorites** : ディスプレイの設定を保存・復元します。  
**[Save]** ディスプレイの設定を保存します。  
**[Open]** 予め保存ておいた設定を呼び出して、復元します。

**Mode Management** : 特殊な解像度を選択できるようにします。標準では選択できない特殊な解像度を の「Output setting for」に追加し、選択できるように設定します。

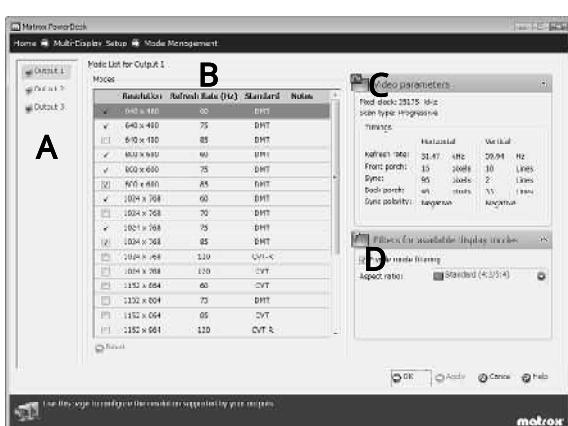
**注意** : 接続したディスプレイがサポートしていない解像度を追加又は選択した場合、正常に表示出来ません。最悪の場合、モニタに損傷を与える可能性が御座います。ご使用に当たっては十分にご注意下さい。  
 尚、現在ご使用になられているモニタがどの解像度をサポートしているかについてのお問い合わせにはお答え出来ません。予めご了承下さい。



最初に「Mode Management」を選択した際に、メッセージ画面が表示されます。

内容に同意し「Mode Management」をご利用頂く場合にのみ「I accept」ボタンをクリックして下さい。「I do not accept」を選択すると「Mode Management」はご使用頂けません。

\* 初回使用時に「I accept」ボタンを押すと、次回からこのメッセージは表示されません。



**A** : マルチディスプレイを設定した場合、出力毎に解像度の追加が可能です。解像度を追加する出力先を選択します。

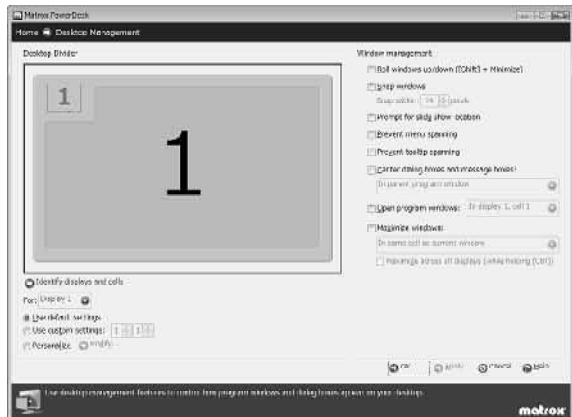
**B** : 追加可能な解像度のリストです。追加する解像度を選択し、左側のチェックボックスにチェックを入れます。

**C** : B で選択した解像度のビデオパラメーターです。

**D** : 「Enable mode filtering」にチェックを入れ、「Aspect ratio」からアスペクト比を選択することで、選択したアスペクト比に対応した解像度のみリストに表示されます。

設定が終了したら「OK」又は「Apply」をクリックして、設定を確定します。

## 7-3. Desktop Management



### [ Desktop Divider ]

1つのWindowsデスクトップを複数の領域に分割し、分割した各領域に下記のDesktop Managementで設定したウィンドウやダイアログボックス等を表示させることができます。高解像度の大型モニタやワイドモニタを使用して複数のウィンドウを同時に表示する場合に最適です。

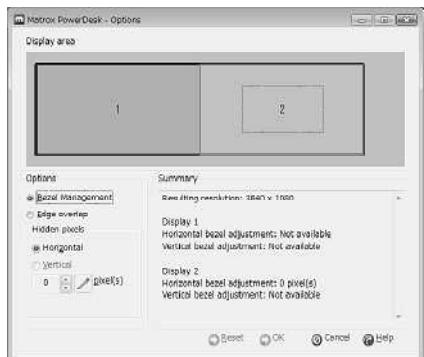
### [ Desktop Management ]

マルチモニタを使用する際、プログラムウィンドウの表示位置の記憶やダイアログ/メッセージボックスの表示位置、ウィンドウ最大化時の表示位置等を設定することができます。

## 7-4. Edge Overlap and Bezel Management



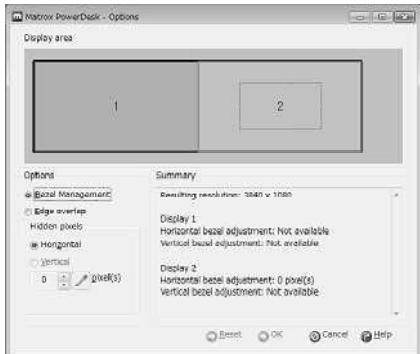
Step1 各出力のオーバーラップ、及び、ベゼル枠部分の調整の基準となるモニタ出力をプルダウンメニューから選択し、「Modify」をクリックします。



Step2 ベゼル枠の調整を行う場合は、左下部の「Option」から「Bezel Management」を選択します。(Step3へ)

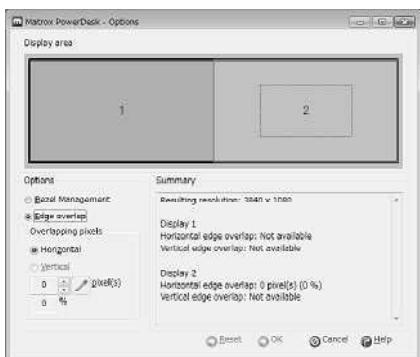
オーバーラップの調整を行う場合は、「Edge Overlap」を選択します。(Step4へ)

Edge Overlap and Bezel Managementは、「Multi-display Setup」で「Use stretched mode」に設定した場合にのみ設定が可能です。シングルディスプレイや他のマルチディスプレイモードではご利用頂けません。また、複数のボード、または、GPUを跨いでのご利用はできません。(該当のボード、または、GPUの範囲内でご利用下さい)



## < Bezel Management >

Step3 ディスプレイ上に表示されるスケールを確認しながら「Hidden pixels」の項目から横方向の調整は「Horizontal」、縦方向の調整は「Vertical」を選択し、ピクセル単位で調整します。調整が完了したら「OK」をクリックして設定を確定します。



## < Edge Overlap >

Step4 ディスプレイ上に表示されるスケールを確認しながら「Hidden pixels」の項目から横方向の調整は「Horizontal」、縦方向の調整は「Vertical」を選択し、ピクセル単位で調整します。調整が完了したら「OK」をクリックして設定を確定します。

## 7-5. Keyboard Shortcuts



### [ Locate mouse pointer ]

ディスプレイ上のどこにマウスポインタがあるか確認できるようにします。

### [ Swap active windows ]

ディスプレイの設定を変更することなくアクティブウィンドウを任意のデスクトップに移動することができます。

## 7-6. Desktop Zoom

1台または複数のモニタにまたがって表示された画面の一部を、同じボードに接続された別の1台のモニタにズーム表示することができます。

ズーム表示する箇所を指定するには、マウスで領域を指定する方法と、「Desktop Divider」であらかじめ、デスクトップ領域を区切り、区切られた特定の場所を指定する方法があります。

また、ズーム画面を表示する1台のモニタは、「Multi-display Setup」であらかじめ、「feature display」として指定しておく必要があります。

---

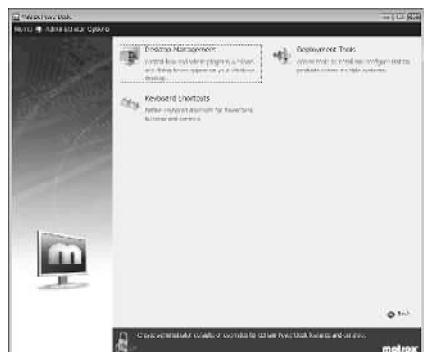
複数のボードでご利用の場合、ボード A で指定した範囲をボード B に Zoom 機能を使って表示させることはできません。ボード A で指定した範囲は、ボード A の他の出力を「feature display」にして設定して表示を行って下さい。

## 7-7. System Settings



Windows の「ようこそ」画面を任意のディスプレイ上に表示します。

## 7-8. Administrator Options



### [ Desktop Management ]

Desktop Management に管理者権限の機能を付加し、任意のユーザーのみが設定を行えるようにします。

### [ Keyboard Shortcuts ]

Keyboard Shortcuts に管理者権限の機能を付加し、任意のユーザーのみが設定を行えるようにします。

### [ Deployment Tools ]

同種の Matrox グラフィックボードを複数のコンピュータにインストールする際、予めインストールされたコンピュータの設定ファイルを用い、同一の環境を構築します。 詳細につきましては、オンラインヘルプをご覧下さい。

## 7-9. Help and Troubleshooting

オンラインヘルプ及び Matrox 社のテクニカルサポートサイトへのリンクです。

## 7-10. About

インストールされている Matrox グラフィックボードと PowerDesk の情報を確認することができます。

## 8. トラブルシューティング

Q. グラフィックボードをセットして、電源を入れてもコンピュータが起動しない。

A. コンピュータに本製品以外のグラフィックボードがセットされていませんか？

- まずは、他のボードを外して一枚のボードで試して下さい。

一部のコンピュータにおいて、マザーボード上にグラフィック回路が実装されていることがあります。その場合、その回路を無効にする必要があります。詳しくはコンピュータのマニュアルを参照するか、コンピュータの製造・販売メーカーにお問い合わせ下さい。

Q. 電源を入れると、モニタ画面に何も表示されない。

A.1 モニタの電源はオンになっていますか？またモニタの接続ケーブルは確実にモニタ及びグラフィックボードに接続されているかを確認して下さい。もし、モニタのケーブルがBNCタイプの場合は、R・G・B・Hsync・Vsyncがすべて正しく接続されているかご確認下さい。

A.2 グラフィックボードが正しく取り付けられていないかもしれません。

- コンピュータの電源を切り、ACコードをはずします。次にグラフィックボードがきちんとPCI-Express x16/PCI-Express x1スロットに差し込まれているかを確認して下さい。スロットに対して斜めに差し込まれている場合があります。

A.3 DVI接続の場合、コンピュータの電源投入後に接続してもモニタ画面に何も表示されません。コンピュータの電源を切り、モニタと接続後コンピュータの電源をオンにして下さい。

Q. モニタ上で色のバランスが悪い／画像が画面からはみ出してしまう。

A. お使いのモニタの設定・調整が必要かもしれません。モニタのマニュアルをご覧になり、正しく映るように設定・調整して下さい。

---

Q. 画面解像度を変えた場合に、画面が流れたり、何も表示されない。

A. お使いのモニタの設定範囲外の解像度を選択してしまった可能性があります。グラフィックボードのドライバは接続されているモニタの性能をチェックしているわけではありません。お使いのモニタを正しく設定して下さい。

注意 モニタの設定範囲外の解像度で使用すると、モニタに大きな損傷を与える場合があります。

Q. セットアップで IRQ (割り込み) に関するエラーが発生してしまう。(若しくは、3D のアプリケーションがうまく動作しない)

A.1 コンピュータまたはプログラムがグラフィックボードのバスマスタ機能に対応していないことが考えられます。そこでバスマスタ機能を無効にします。

Step1 「トラブルシューティング設定」の「バスマスタリングを行う」のチェックボックスをはずします。

Step2 「OK」をクリックします。

Step3 再起動を促すダイアログが出ますので「はい」をクリックして下さい。Windows が再起動されます。

A.2 グラフィックカードに IRQ(割り込み) がセットされていないかもしれません。次の方法で確認して下さい。

Step1 「マイコンピュータ」アイコンの上でマウスを右クリックし、「プロパティ」をクリックして下さい。

Step2 「ハードウェア」タブ 「デバイスマネージャ」 「ディスプレイヤドライバ」の左の+をクリックし、「Matrox M xxx」をダブルクリックして下さい。

Step3 「リソース」タブ 「リソースの種類」の中の「割り込み要求(もしくは IRQ)」の値がセットされている IRQ(割り込み) です。

Step4 逆に割り当てがされていない場合は、上記の2で「Matrox M xxx」に「x」または「?」がついています。この場合は、コンピュータのBIOSの設定の中で「VGAカードにIRQを割り当てない設定」になっている可能性があります。お使いのコンピュータのマニュアルをご覧になり、「VGAカードにIRQを割り当てる設定」として下さい。詳しくはコンピュータの製造・販売メーカーにお問い合わせ下さい。

Q. コンピュータを起動してもグラフィックボードが正常に動作していない場合。

A. ドライバが正常にインストールされていないために異常動作している可能性があります。

- 一旦ディスプレイドライバを削除した後、再度インストールをお試し下さい。  
ディスプレイドライバの削除は、「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から行って下さい。

## 9. 製品仕様

	M9120 PCIe	M9120 Plus LP PCIe	M9125 PCIe	M9140 LP PCIe
サポートOS	Windows Server 2003, Windows Server 2008, Windows XP, Windows Vista Windows 7			
デジタル出力サポート	DVI	DVI	Dual-Link DVI	DVI
メモリ	512MB	512MB	512MB	512MB
対応バス	PCIe x16	PCIe x1, x16	PCIe x16	PCIe x16
フォームファクタ	ATX	Low-profile	ATX	Low-profile
画面数	2	2*	2	4
デュアルモニタケーブル	—	1	—	—
クアッドモニタケーブル	—	—	—	1
DVI→DSUB15変換コネクタ	2	2	2	4
コネクタ	2x DVI	1x LFH-60	2x DVI	1x KX20
ボードサイズ(cm)	16.8(L) x 1.91(W) x 11.1(H)	16.8(L) x 1.91(W) x 6.9(H)	16.8(L) x 1.91(W) x 11.1(H)	16.8(L) x 1.91(W) x 6.9(H)

\*4面出力用ケーブル(別売)を使用してアナログ4出力が可能です。

	M9128 LP PCIe	M9138 LP PCIe	M9148 LP PCIe	M9188 PCIe
サポートOS	Windows Server 2003, Windows Server 2008, Windows XP, Windows Vista Windows 7			
デジタル出力サポート	DVI, DisplayPort	DVI, DisplayPort	DVI, DisplayPort	DVI, DisplayPort
メモリ	1GB	1GB	1GB	2GB
対応バス	PCIe x16	PCIe x16	PCIe x16	PCIe x16
フォームファクタ	Low-profile	Low-profile	Low-profile	ATX
画面数	2	3	4	8
Mini DisplayPort→DisplayPort変換ケーブル	—	3	4	8
DisplayPort→DVI-D変換ケーブル	2	—*	4	8
コネクタ	2x DisplayPort	3x Mini DisplayPort	4x Mini DisplayPort	8x Mini DisplayPort
ボードサイズ(cm)	16.8(L) x 1.91(W) x 6.9(H)	16.8(L) x 1.91(W) x 6.9(H)	16.8(L) x 1.91(W) x 6.9(H)	22.86(L) x 1.91(W) x 11.19(H)

\*DVI出力には、DisplayPort→DVI-D変換ケーブル(別売)が必要となります。パッケージによっては、付属している場合があります。

Matrox 社のグラフィックボードは、VGA 互換を持ち、次の VESA 規格をサポートします。

VEB3.0 (Super VGA modes)

DPMS (energy saving)

DDC-2B (Plug-and-Play monitor) 及び DDC-CI

製品の性能を最大限発揮する為、32bit カラーでの使用を推奨します。

表示可能な解像度及びリフレッシュレートは、グラフィックボード、ディスプレイドライバ、ソフトウェアのモニタ設定及びモニタ本体に依存します。モニタの仕様につきましては、モニタメーカーにてご確認下さい。

M9120 PCIe x16、M9120 Plus LP PCIe x16/x1 及び M9125 PCIe x16

**最大解像度**

デジタル (DVI): 1920x1200 / 60Hz (with reduced blanking) \*

アナログ : 2048x1536 / 85Hz

M9120 Plus LP PCIe x16/x1 は、専用の 4 出力用ケーブル (別売) を使用することで、アナログ 4 出力に対応します。

**最大解像度**

アナログ : 1920x1200 / 60Hz

M9125 PCIe x16 は、Dual-Link DVI をサポートします。

(Dual-Link モニタケーブル使用時)

**最大解像度**

デジタル (Dual-Link DVI): 2560x1600 / 60Hz (with reduced blanking) \*

M9140 LP PCIe x16

**最大解像度**

デジタル (DVI): 1920x1200 / 60Hz (with reduced blanking) \*

アナログ : 1920x1200 / 60Hz

M9128 LP PCIe x16、M9138 LP PCIe x16、M9148 LP PCIe x16 及び M9188 PCIe x16

**最大解像度**

デジタル (DVI): 1920x1200 / 60Hz (with reduced blanking) \*

デジタル (DisplayPort): 2560x1600 / 60Hz

アナログ : 対応していません

4 画面ストレッチモードで 1 画面あたりの解像度が 1600x1200 を超える場合、ビデオ再生のパフォーマンスが低下することがあります。

\* 接続するモニタが reduced blanking をサポートしていない場合、正常に表示出来ない場合があります。



ジャパンマテリアル株式会社  
グラフィックスソリューション事業部  
<http://www.jmgs.jp/>